

MISSION

ものづくりの力で世界を幸せに

叡智を結集した設計・製造技術により社会の諸問題を解決し、みんなが笑顔になれる明るい未来を創出します。

PROFILE

由紀ホールディングス株式会社

代表取締役社長 大坪正人

1975年5月12日 神奈川県茅ヶ崎市生まれ。

東京大学大学院（産業機械工学専攻）を修了後、株式会社インクス（現ソライズ株式会社）に入社。金型技術、工作機械設計、工場の立ち上げ、企業再生コンサルティングなどの業務経験を経て、2005年自ら立ち上げた2次元図面を一切使わない高速金型工場により、ものづくり日本大賞経済産業大臣賞を受賞。

2006年に祖父が創業した由紀精密（従業員20名）に入社し、航空宇宙業界の品質管理に対応するためJIS Q 9100（航空宇宙品質マネジメントシステム）の取得、経済産業省のIT 経営力大賞の受賞など、より高付加価値なものづくりに特化した経営戦略に力を入れる。また、開発部を立ち上げ、オリジナルの卓上旋盤、人工衛星の設計・製造、フランスへの進出、複雑機械式腕時計の製造、さらには月面着陸カプセルから宇宙のゴミ問題解決まで果敢に挑戦する。

2017年10月、由紀ホールディングス株式会社を創業。現在グループ12社のものづくり企業にイノベーションを起こすべく活動中。

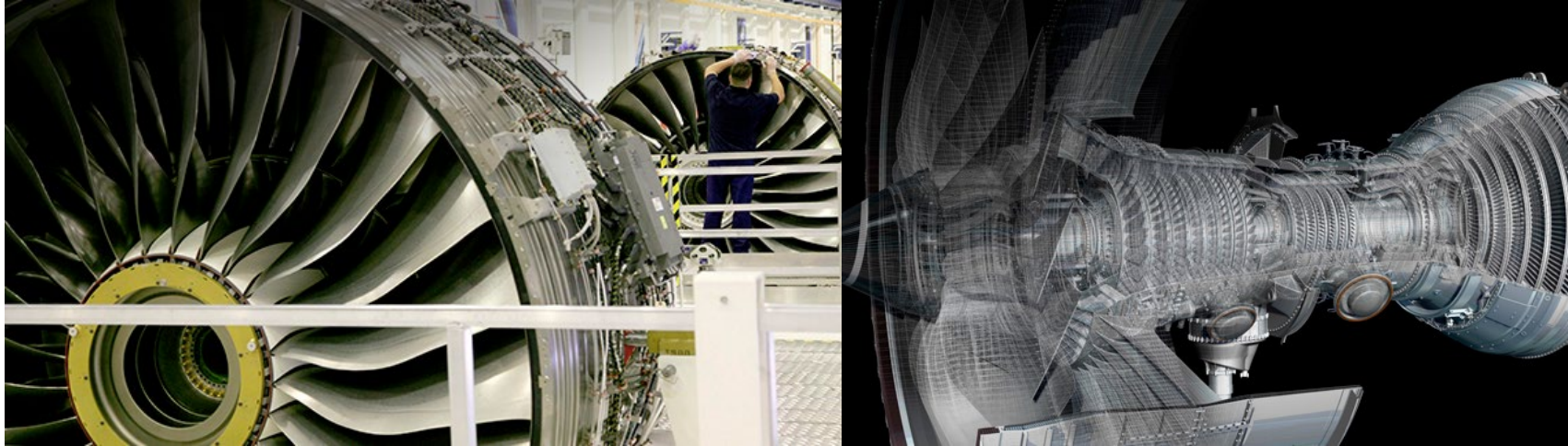
2020年4月、ファクトリーサイエンティスト協会設立、代表理事就任。





由紀精密(大坪螺子製作所)
創業1950年

電気機器部品から航空機用部品製造へ



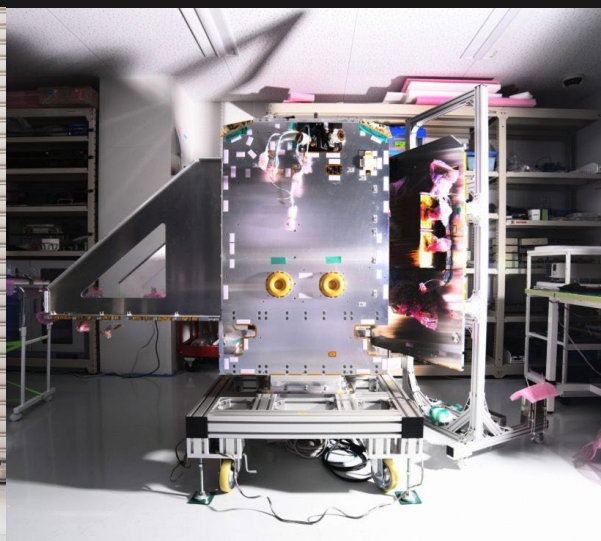
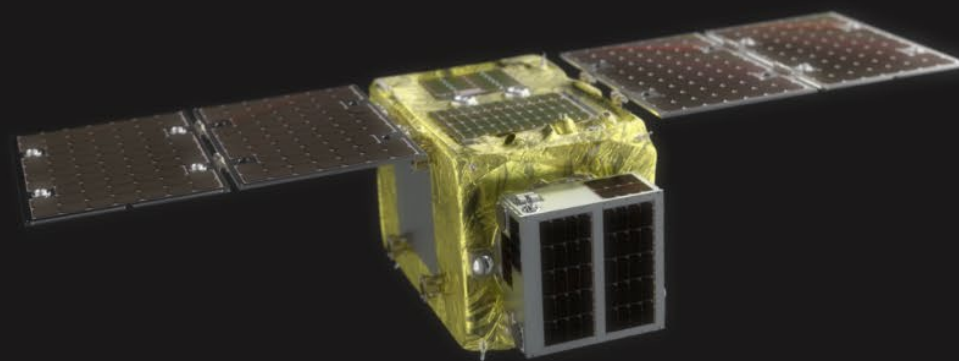
ねじ屋から始まった由紀精密は得意のねじ加工技術を利用し、そこに航空宇宙品質マネジメント（JISQ9100）の取得、そして、大手ジェットエンジンメーカーからの品質認証（左写真参照）を受け、エンジンから機体、内装まで、幅広く旅客機部品を量産している。

スペースデブリ除去衛星ELSA-dの機構部設計・製造

ELSA-d

ELSA-d mission is Astroscale's in-orbit demonstration that aims to test several capabilities and technologies needed for future services.

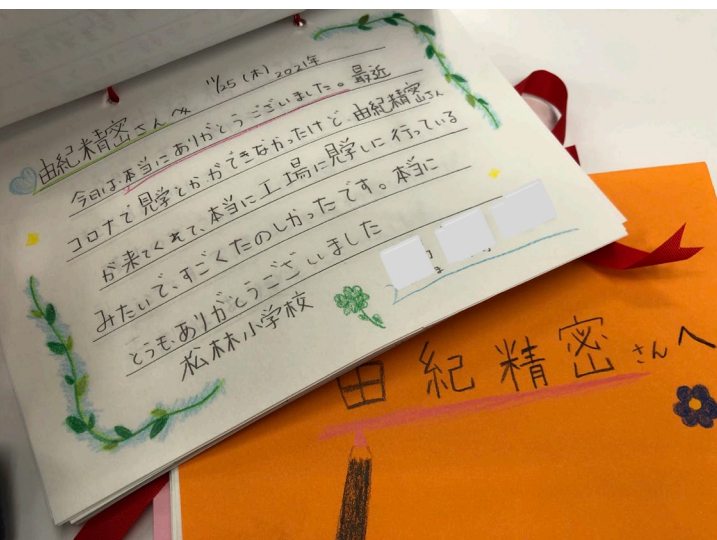
[Read more...](#)



ASTROSCALE社（由紀HDと業務資本提携パートナー）が開発している宇宙のごみを掃除する衛星ELSA-dの製造をサポートしている。左下写真はチーム「Space Sweepers」で左から5番目が大坪、6番目はASTROSCALE代表の岡田社長。

茅ヶ崎地域の小学校で ものづくり授業を実施

小学校5年生向け「工業」授業
ほか、中学生への授業、高校生の
取材受け入れなど



由紀精密はじめ製造業の仕事の紹介とあわせて、普段身近に使っている文具を分解し、ネジやバネなどどんな部品が使われているか、またその製品が出来上がるまでを製造過程の動画で紹介しています。若い世代に対して、実際に手を動かして分解してみる作業、普段見ることのない映像や従業員との触れ合いを通し、ものづくりに対して持っている潜在的な興味や好奇心を育てたいと考えています。

製造業の持つ優れた要素技術の 消滅を防ぎたい

YUKI Method®

- 1 日本の製造業で長年培われた優れた要素技術を深く理解し
あらゆる先端産業へ応用する
- 2 中小製造業をグループ化し、技術の継続的な発展を促す
手法とプラットフォームを提供する

グループの生み出す製品で世界の社会問題を解決する

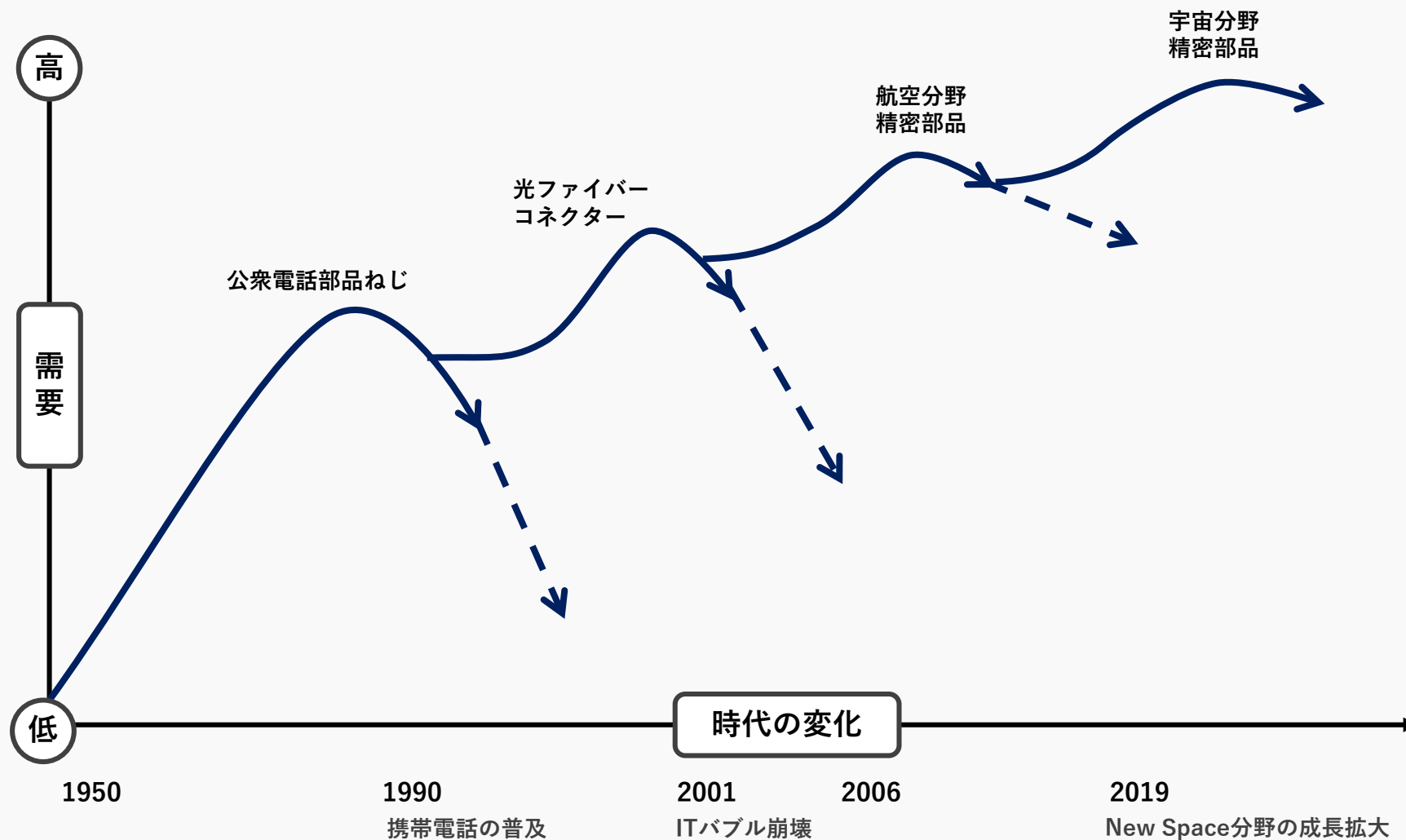
製品ライフサイクルの衰退期とともに起こる要素技術の消滅を防ぐ

事業承継問題を解決する

人口減少フェーズでも世界の中で存在感を持った日本に

日本の製造業で長年培われた優れた要素技術を深く理解しあらゆる先端産業へ応用する

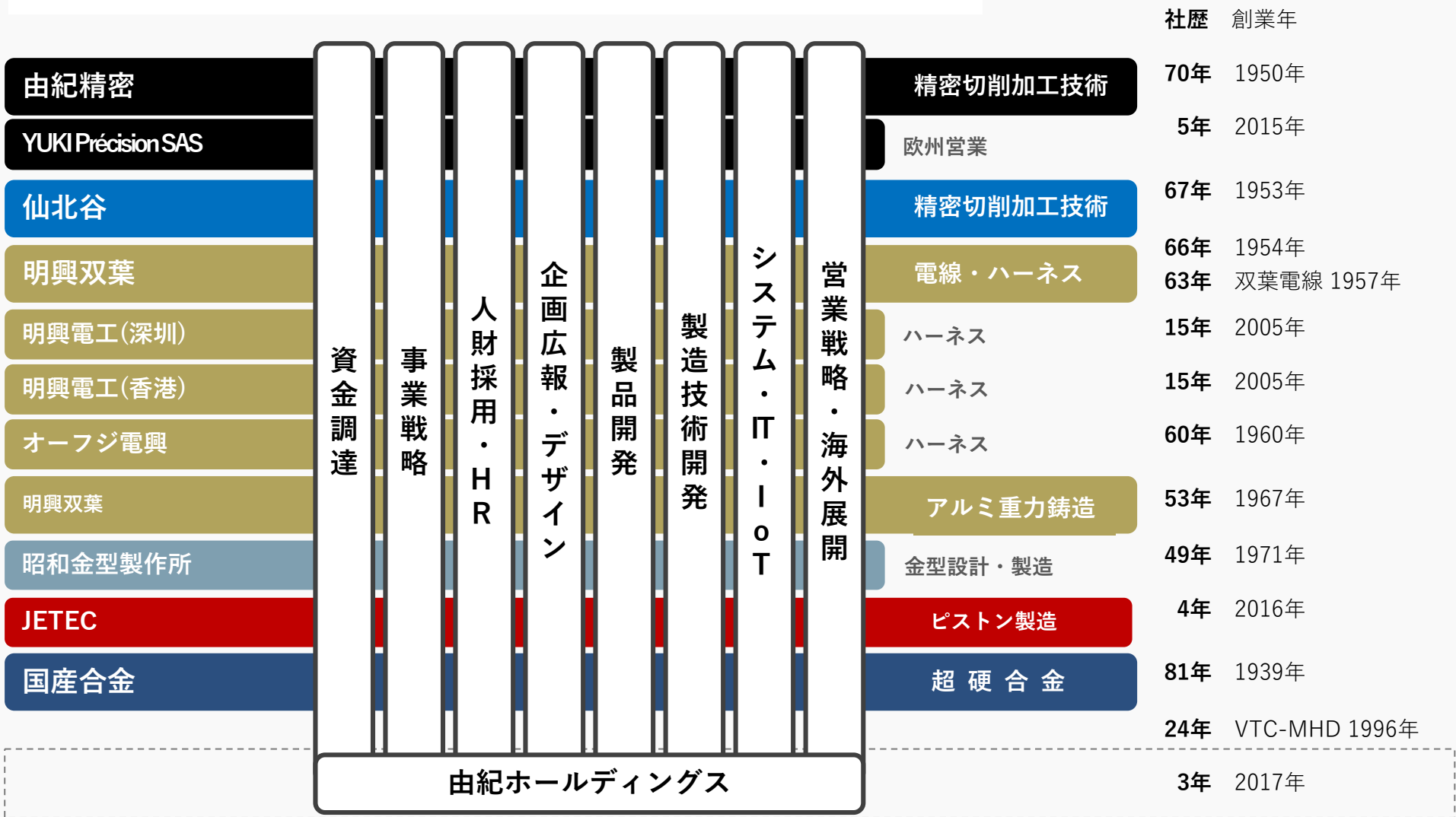
製品ライフサイクルの衰退期とともに起こる要素技術の消滅を防ぐ



精密切削加工技術

中小製造業をグループ化し、技術の継続的な発展を促す手法とプラットフォームを提供する

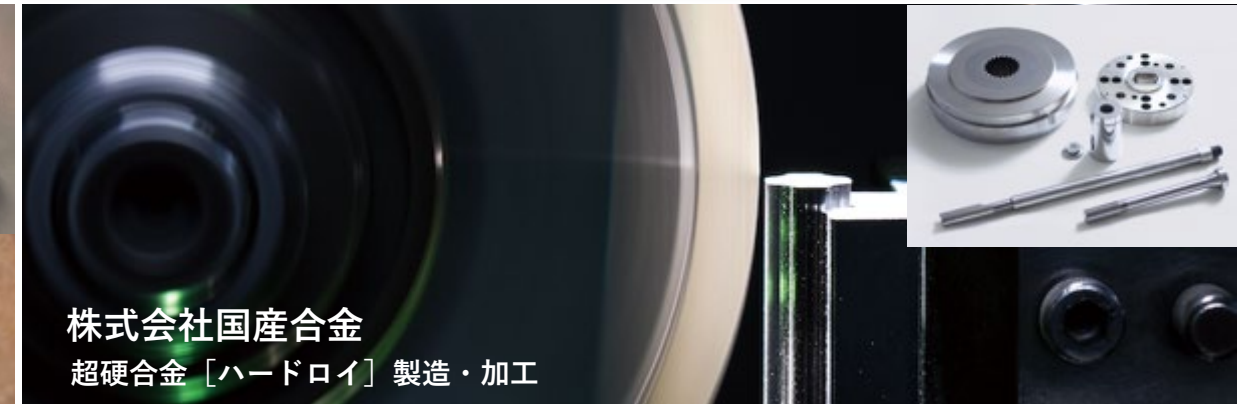
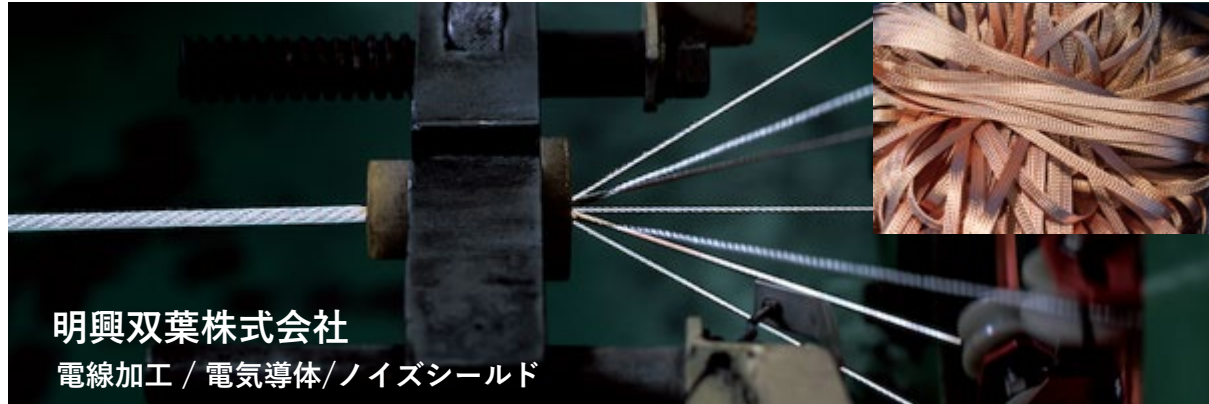
由紀ホールディングスの機能をプラットフォームとして各社が活用(YUKI Method™)



グループ合計社歴

575年

※2021年時点



ファクトリー・サイエンティスト 育成講座とは

- 中小規模の製造業の現場担当者が
- IoTデバイスによるエンジニアリング、センシング、データ解析/視覚化、データ活用の等の技術・知識を身に付け
- 現場、経営者双方とコミュニケーションをとりながら、データを軸に企業の経営判断のアシストができる人財

→ファクトリー・サイエンティストの育成を目指し、講座を実施

2030年には全国で4万人が活躍する世界を目指して展開
(国内事業所約20万に対して1/5の人数)



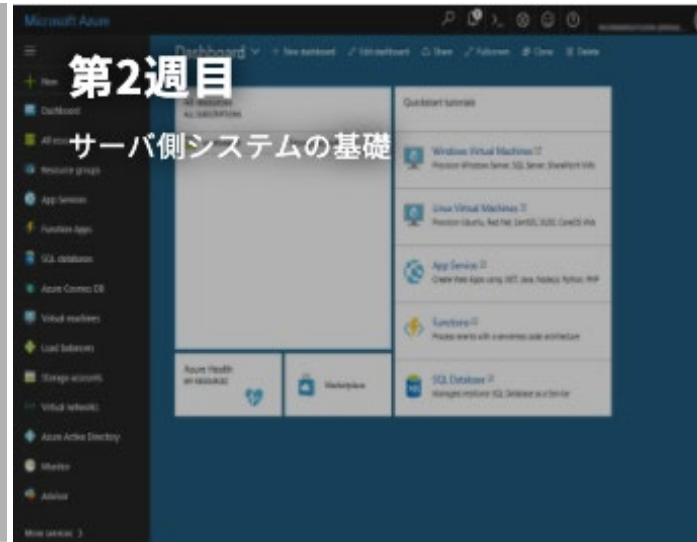
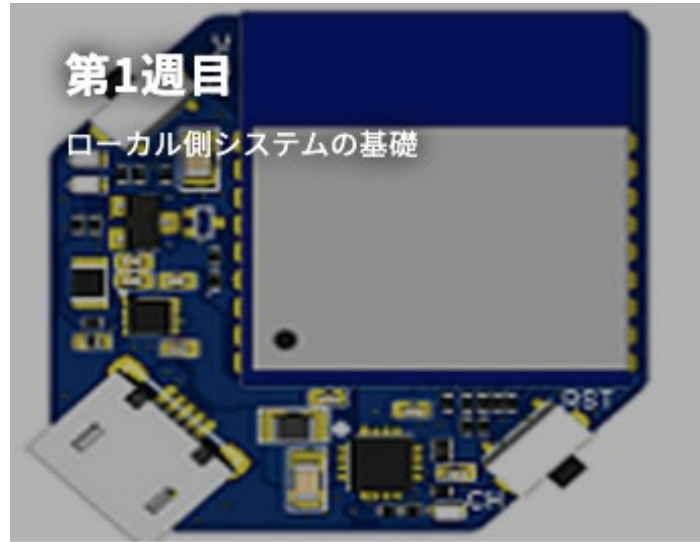
ファクトリー・サイエンティスト協会の活動

ファクトリーサイエンティスト協会は、ものづくり産業を牽引する人材、ファクトリーサイエンティストを次々に育成し、日本の産業競争力の向上に挑戦します。具体的には、2020年度に座学での認定取得に加えてリモート講座を立ち上げ、2021年度末には400名を超えるファクトリーサイエンティストを認定しました。10年後の目標としては40,000人を設定し、認定制度に加えて、認定者コミュニティの運営、ケーススタディの発信、書籍の出版、セミナーやシンポジウム等の開催を進めていく予定です。



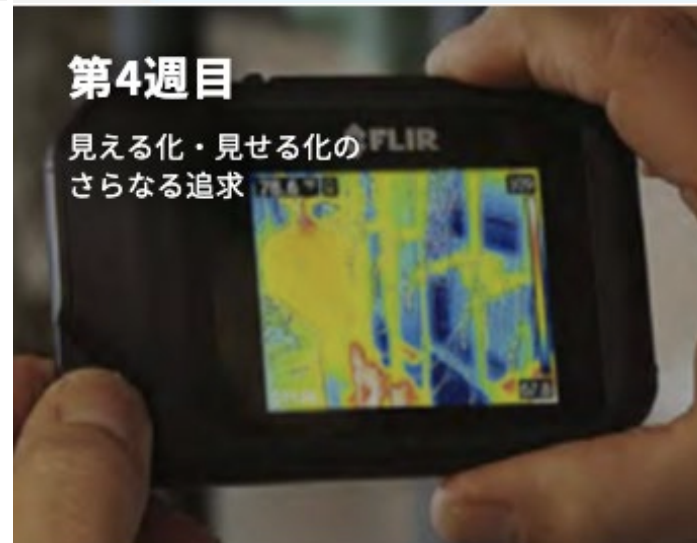
<https://www.factoryscientist.com/>

ファクトリー・サイエンティスト 育成講座とは



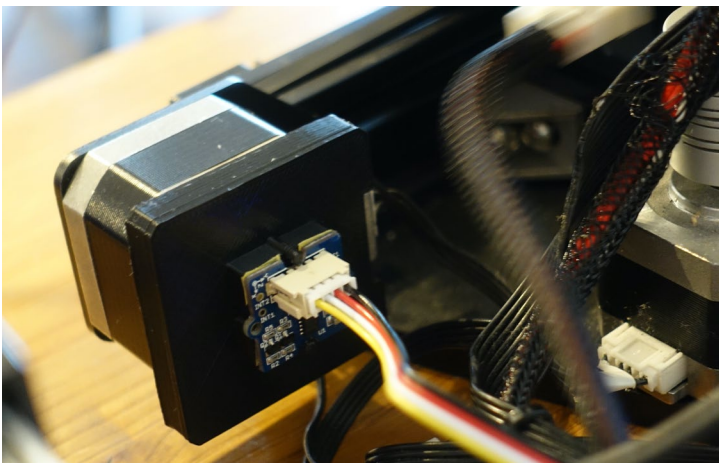
プログラミングをしたことのない人でも
IoTの一連の体験ができるカリキュラムを構築
+リモートでのオンライン講座立ち上げ

- ・ 受講生による製作例1：コンプレッサー室の室温モニタリングと通知
- ・ 受講生による製作例2：FAXの受信見逃し防止システムの製作
- ・ 受講生による製作例3：IoT振動センサで機械の稼働状況モニタリング



ファクトリー・サイエンティスト 育成講座とは

2019年夏講座@慶應大学SFC



「第一回ファクトリー・サイエンティスト育成講座」を4泊5日の合宿形式で実施しました。
2019年8月26日（月）～2019年8月30日（金）
（アフターフォローセッション 2019年9月下旬 2時間のWebミーティング）